



2022年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年6月13日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 2022年6月14日

配当支払開始予定日

2022年7月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第2四半期の連結業績(2021年11月1日～2022年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第2四半期	14,490	10.5	742	41.6	889	33.2	659	28.0
2021年10月期第2四半期	13,107	7.4	1,270	10.6	1,331	19.6	916	19.6

(注) 包括利益 2022年10月期第2四半期 1,204百万円 (1.3%) 2021年10月期第2四半期 1,219百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第2四半期	45.59	
2021年10月期第2四半期	63.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年10月期第2四半期	36,243	26,185	72.2
2021年10月期	34,793	25,242	72.5

(参考) 自己資本 2022年10月期第2四半期 26,179百万円 2021年10月期 25,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期		18.00		18.00	36.00
2022年10月期		18.00			
2022年10月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	8.3	1,730	23.3	1,920	19.1	1,330	17.9	91.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、当社グループへの影響は軽微であるため、2022年10月期第2四半期に係る各数値については変更ないものとして算出した増減率を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期2Q	14,897,600 株	2021年10月期	14,897,600 株
期末自己株式数	2022年10月期2Q	426,213 株	2021年10月期	426,213 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期2Q	14,471,387 株	2021年10月期2Q	14,471,387 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、原材料価格の高騰や円安の進行による物価の上昇、機械部品のサプライチェーン混乱による生産調整の発生、及び海上輸送混乱の継続といった不安定要素を抱えた状況にあり、ウクライナ情勢も経済活動における新たな懸念材料となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、原材料価格の高騰や部品調達の遅れが事業活動に影響を及ぼしており、その影響を最小化するために製品への価格転嫁や各種調達の見直しに注力してまいりました。

その結果、売上高144億90百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益7億42百万円（前年同四半期比41.6%減）、経常利益8億89百万円（前年同四半期比33.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億59百万円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、防災備蓄の需要減等によりシート関連や土のうが不調であったものの、コンクリート補強繊維「バルチップ」が好調であったことに加え、フレキシブルコンテナバッグ、海外向けラミクロス及びメルタック等の需要が回復したことなどにより増収となりました。他方で、依然として原材料価格高騰の影響を大きく受けており、価格転嫁が損益に反映されるまでのタイムラグにより減益となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、主要生産品目であるフレキシブルコンテナバッグ及びバルチップの販売数量増加により順調に推移しました。一方で中国子会社「青島萩原工業有限公司」につきましては、主要生産品目であるシート製品が日本国内の需要低迷により減産が続いており、厳しい状況にあります。また国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、茨城工場に設備投資を行い高付加価値製品の販売構成を増やすよう再編を進めております。

その結果、売上高123億27百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益5億57百万円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、フィルムスリッターで電子部品製造工程用など新たな分野の開拓を行った他、プラスチックリサイクル用の押出関連機器の販売も好調に推移しましたが、紙スリッターで前期までの旺盛な需要が一段落したため、全体では減収に終わりました。利益面では、資材の高騰等の影響もあり、減益となりました。

環境対応への社会的重要性が増す中、プラスチックリサイクル用途の常設テスト機の機能向上等を通じて、高品質なリサイクル需要の取り込みを図ってまいります。

その結果、売上高21億63百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益1億84百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は362億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億50百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は214億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億63百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が16億62百万円減少した一方、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が11億69百万円増加したこと等によります。

固定資産は148億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億14百万円の増加となりました。これは主に建設仮勘定が11億76百万円増加したこと等によります。

負債の部では流動負債は84億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億41百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億17百万円、電子記録債務が2億23百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定負債は15億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が2億8百万円増加したこと等によります。

純資産の部は261億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億42百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は72.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における営業利益の、2022年10月期第2四半期（累計）連結業績予想（2022年3月7日公表）に対する達成率が89.4%にとどまるなど、収益面で厳しい状況にありますが、合成樹脂加工製品事業における製品価格転嫁の進捗及び機械製品事業における売上遅延の解消などにより収益向上を見込んでおり、2022年3月7日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,438,056	5,775,172
受取手形及び売掛金	8,298,417	8,207,211
商品及び製品	2,301,336	2,617,413
仕掛品	2,002,876	2,493,810
原材料及び貯蔵品	1,066,286	1,428,633
その他	662,620	884,907
貸倒引当金	△3,240	△4,550
流動資産合計	21,766,352	21,402,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,206,828	2,811,569
機械装置及び運搬具(純額)	2,796,054	2,865,892
工具、器具及び備品(純額)	414,012	356,917
土地	3,886,623	3,886,623
建設仮勘定	781,662	1,958,047
有形固定資産合計	10,085,181	11,879,049
無形固定資産		
のれん	144,357	99,883
その他	548,924	504,016
無形固定資産合計	693,282	603,900
投資その他の資産		
保険積立金	776,338	786,218
その他	1,472,082	1,571,739
投資その他の資産合計	2,248,420	2,357,957
固定資産合計	13,026,883	14,840,908
資産合計	34,793,235	36,243,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,462,794	1,580,777
電子記録債務	1,441,125	1,665,026
短期借入金	2,290,812	2,254,555
未払法人税等	409,001	317,720
賞与引当金	579,501	626,450
製品保証引当金	33,613	31,621
その他	1,923,734	2,005,532
流動負債合計	8,140,584	8,481,684
固定負債		
長期借入金	107,850	316,000
退職給付に係る負債	823,489	765,834
その他	478,498	494,862
固定負債合計	1,409,837	1,576,696
負債合計	9,550,422	10,058,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,473,324	1,473,324
利益剰余金	21,979,110	22,376,962
自己株式	△464,912	△464,912
株主資本合計	24,765,908	25,163,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,770	12,798
繰延ヘッジ損益	1,558	△881
為替換算調整勘定	166,538	676,308
退職給付に係る調整累計額	291,502	327,521
その他の包括利益累計額合計	474,370	1,015,747
非支配株主持分	2,534	5,618
純資産合計	25,242,813	26,185,126
負債純資産合計	34,793,235	36,243,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
売上高	13,107,705	14,490,264
売上原価	9,003,183	10,702,142
売上総利益	4,104,522	3,788,122
販売費及び一般管理費	2,834,148	3,045,791
営業利益	1,270,374	742,330
営業外収益		
受取利息	4,102	5,413
受取配当金	686	720
受取保険金	26,154	27,671
為替差益	5,085	52,046
試作品等売却収入	29,352	41,174
その他	48,241	28,432
営業外収益合計	113,623	155,458
営業外費用		
支払利息	5,637	4,917
売上割引	8,458	—
その他	38,097	3,523
営業外費用合計	52,193	8,441
経常利益	1,331,804	889,347
税金等調整前四半期純利益	1,331,804	889,347
法人税等	415,359	226,719
四半期純利益	916,445	662,628
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	2,945
親会社株主に帰属する四半期純利益	916,450	659,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
四半期純利益	916,445	662,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,814	△1,972
繰延ヘッジ損益	△3,700	△2,440
為替換算調整勘定	262,070	509,909
退職給付に係る調整額	37,994	36,019
その他の包括利益合計	303,178	541,516
四半期包括利益	1,219,623	1,204,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,219,601	1,201,059
非支配株主に係る四半期包括利益	22	3,084

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,331,804	889,347
減価償却費	614,528	639,257
のれん償却額	50,215	53,878
貸倒引当金の増減額(△は減少)	285	1,309
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△60,521	△60,501
役員株式報酬引当金の増減額(△は減少)	15,000	15,000
受取利息及び受取配当金	△4,789	△6,133
支払利息	5,637	4,917
売上債権の増減額(△は増加)	△46,230	207,627
棚卸資産の増減額(△は増加)	△160,997	△916,362
仕入債務の増減額(△は減少)	△324,693	125,672
その他	331,669	△335,360
小計	1,751,908	618,654
利息及び配当金の受取額	4,830	4,650
利息の支払額	△4,681	△5,319
法人税等の支払額	△355,522	△337,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,396,535	280,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	50,370
有形固定資産の取得による支出	△625,161	△1,887,478
有形固定資産の売却による収入	1,190	200
保険積立金の増減額(△は増加)	3,097	△9,880
その他	△59,224	△36,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△680,098	△1,883,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	23,107	△92,305
長期借入れによる収入	—	230,780
長期借入金の返済による支出	△89,352	△58,964
配当金の支払額	△247,949	△261,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,194	△182,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	77,489	165,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	479,732	△1,619,864
現金及び現金同等物の期首残高	6,940,336	6,696,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,420,068	5,076,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

合成樹脂加工製品事業における商品又は製品の国内販売にかかる収益については、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

機械製品事業における機械販売にかかる収益については、製品に対する支配が顧客に移転し、履行義務が充足された時点である顧客による検収が完了した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループは、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大に起因して海上輸送の混乱や納品・検収遅れ等の影響が出ております。

前連結会計年度末において、新型コロナウイルス感染症の影響については、当連結会計年度末までは、国内外で感染状況の悪化による事業活動の制約が継続または断続的に発生するものと見込んでおり、この仮定に基づき、減損損失の認識の判定について会計上の見積りを行っております。

当該仮定は当四半期連結会計期間末においても変更ありません。

なお、上記仮定に状況変化が生じた場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,872,674	2,235,031	13,107,705	—	13,107,705
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	109,187	109,187	△109,187	—
計	10,872,674	2,344,218	13,216,892	△109,187	13,107,705
セグメント利益	941,239	329,135	1,270,374	—	1,270,374

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	8,744,919	1,862,615	10,607,534	—	10,607,534
アジア	1,398,793	299,770	1,698,564	—	1,698,564
北アメリカ	647,579	848	648,428	—	648,428
南アメリカ	769,147	—	769,147	—	769,147
オセアニア	493,743	—	493,743	—	493,743
ヨーロッパ	272,846	—	272,846	—	272,846
顧客との契約から生じる 収益	12,327,029	2,163,235	14,490,264	—	14,490,264
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,327,029	2,163,235	14,490,264	—	14,490,264
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	29,487	29,487	△29,487	—
計	12,327,029	2,192,722	14,519,752	△29,487	14,490,264
セグメント利益	557,721	184,609	742,330	—	742,330

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。